

麻しん(はしか)、油断は禁物です！

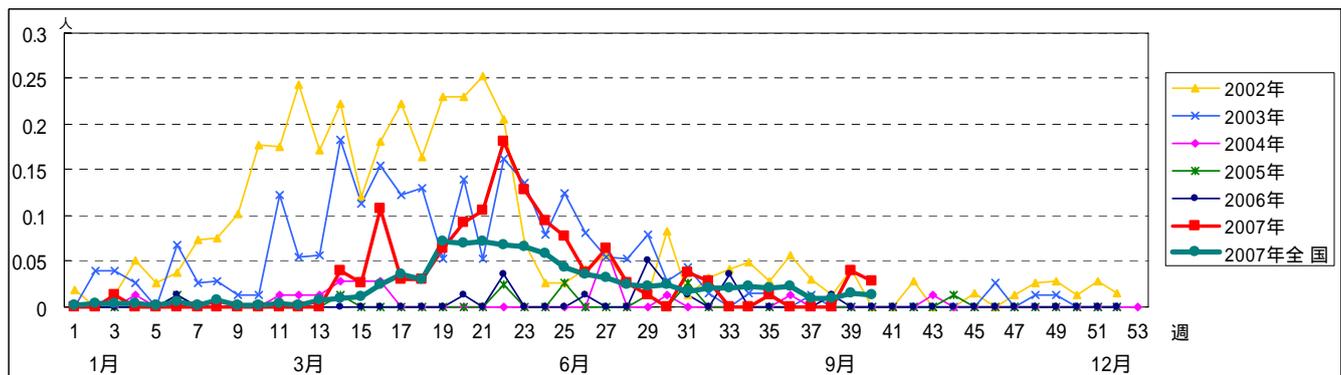
横浜市では、9月末より、麻しんの報告が少し目立ち、市内の大学で集団発生があり、休講になりました。

麻しん排除に向けて、予防接種の徹底が重要です！

麻しんの流行については、全国的に小康状態が続いていますが、地域によっては集団発生の報告も見られます。流行の詳細については、[【横浜市感染症臨時情報\(麻しん\(はしか\)の流行について\)\(1～14\)】](#)をご覧ください。

麻しんの流行は、春から夏にかけてが一般的ですが、秋にも警戒を継続する必要があります。

小児科定点(横浜:84か所、全国:約3000か所)からの定点あたり患者報告数の推移



現在、大きな流行は見られていませんが、

<学校、施設等では>

- ・次の流行までに、学生や職員の予防接種歴・既往歴を確認し、未接種・未罹患者への、ワクチン接種を推進しましょう。
- ・迅速な対応が必要になるので、1例でも発生した場合は、福祉保健センター等に相談しましょう。

<麻しんにかかったら...>

- ・発熱等出現時は、無理をせず、学校や仕事などを休みましょう。
 - ・医療機関を受診する時は、以下の注意をしっかりと守りましょう。
- 必ず事前に電話で以下の事項を伝えて、受診の仕方(時間の指定、待合室の指定など)を確認しましょう。
- 1 学校、職場、家族等で麻しんの患者が出ている場合は、その詳細
 - 2 ご自分の症状と、予防接種歴
- ・麻しんとわかったら、保育園、幼稚園、学校、職場等に、きちんと伝えましょう。(感染拡大防止への対応が必要です！)

<予防接種について>

- ・定期接種対象者は、速やかに接種しましょう。
- 横浜市健康福祉局 予防接種について
<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/yobousessyu/yobousessyu.html>
- ・麻しん排除に向けて、来年4月より5年間、中1及び高3相当の年齢への定期接種が実施される予定です。

横浜市では、横浜市麻しん(はしか)対策連絡会を設置して、検討しています。

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hokenjo/mashintaisaku.html>